報本反始の碑

江倉隧道 この奥に隧道が通っている

葦名堰（あしなぜき）とは

葦名堰とは「二ノ台堰」、「刑部堰」とも言われている。

今から約400年前、元和4年、1618年葦名家17代葦名盛信公が二ノ台地域への通水を目指して開削され、以来代々引き継がれ60余年の歳月を経て完成されたといわれている。

衣川村増沢の後川と前川に水源を求め、平地、山間地を経て東流し、小山上野の、山崎揚場、主計谷地揚場への水路開削である。

堰はサイホン方式を交え、平堰と穴堰15か所ずつ交互に開削され、穴堰全長5,538m、平堰全長18,610m、総延長24,148mの驚異的な距離であり、偉大な史跡である。

開削400年を迎え、葦名堰保存会では「400年記念事業実行委員会」を立ち上げ事業に取り組んでいる。

お問い合わせ先
葦名堰史跡保存会
会長　若槻慶之進
岩手県奥州市胆沢小山字中沢297
TEL 0197−47−1930

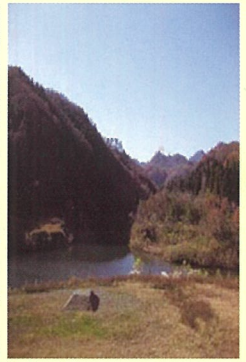
葦名堰

二ノ台堰

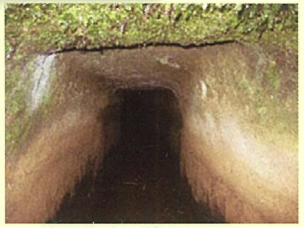
奥州市
協働のまちづくり

葦名堰路線図

現在のポンプ揚水場
取水口
揚口
増沢下
増沢上
前川揚場
増沢ダム
小平
人首
大平裏
叭（かます）
江倉
小田坂東（割穴）
兎穴坂下
上井戸
下井戸
小田裏
兎穴坂上
中ノ森
新堀
最終湧出
斜坑
最終受込
柴立


水源増沢ダム

小平隧道出口

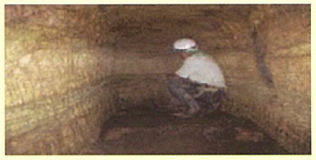

大平裏隧道内部

人首隧道入口

小田裏平堰

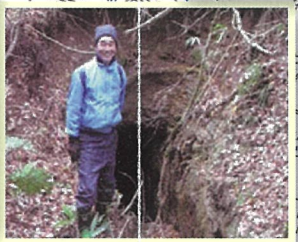
中の森隧道入り口

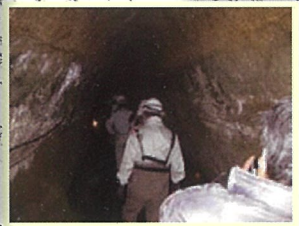
最終受込修復工事


受込斜坑内部

大平裏隧道出口

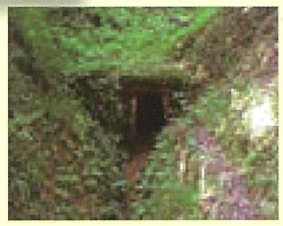
最大の難所江倉


上井戸（サイホン）出口


最終湧出隧道内部

上井戸、下井戸と2か所の
サイホン方式の隧道がある

下井戸（サイホン）出口


最終湧出口

凡　例
平　堰
穴　堰